

函館工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語特講A	
科目基礎情報							
科目番号	0392		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	生産システム工学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材	TOEIC TEST サラリーマン特急 新形式リスニング (朝日出版) , TOEIC L & R TEST出る単特急 金のフレーズ(朝日出版)						
担当教員	山下 純一						
到達目標							
1. 英語の基礎的な語彙、慣用句2600語以上を理解し運用できる。 2. 相手が毎分100語程度の速度で、自分や身近なことについて話す場合、その内容を聞いて理解できる。 3. TOEIC500点レベル (英検2級程度) の語彙を習得し、同レベルのリスニング問題を聞き取ることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	TOEICテストの600点レベル400語の80%以上を理解することができる。		TOEICテストの600点レベル400語の70%以上理解することができる。		TOEICテストの600点レベル400語の60%以上を理解することができない。		
評価項目2, 3	TOEICテストリスニングで160点以上取ることができる力を身につける。		TOEICテストリスニングで140点以上取ることができる力を身につける。		TOEICテストリスニングで120点以上取ることができる力を身につけることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 E							
教育方法等							
概要	英語特講 A では、多様なテーマの英文を題材として演習形式で読解力の向上を図るとともに、国際的なコミュニケーションを行うために必要な基礎的な英語理解力および表現力を養う。特にTOEICテストのリスニング問題練習や単語確認テストを通して、語彙能力 (TOEIC500点レベル、英検2級程度) を身につける。						
授業の進め方・方法	本講義の内容は、T O E I C 試験に向けた①英単語、熟語の修得、②リスニング問題演習が中心となる。国際社会で活躍する技術者として必要な英語の基礎的コミュニケーション力を身につけることを目的とし、T O E I C 500点レベルを目指す。そのため、この授業が開始される前に、これまで習った英語の語彙・文法を各自でしっかり復習した上で受講する必要がある。 授業は、学習到達目標達成のために、TOEICのリスニング問題、語彙問題演を中心にe-learning等で行う。						
注意点	授業中の居眠り、授業に関係ない行動 (PCやモバイル機器の指示以外の操作、漫画読み、内職など) は減点の対象とする。また、課題や提出物の未提出、提出遅れも減点対象となる。最低限、教科書の語彙問題は事前に予習して授業に臨むこと。 JABEE教育到達目標評価: 定期試験80% (E-4) 、小テスト20% (E-4)						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	授業の説明 TOEICテストの説明 1			授業の進め方が理解できる。 TOEICテストの概要が理解できる。	
		2週	小テスト			TOEIC600レベルの語彙を理解することができる。	
		3週	第2章 パート1 の解法と対策			TOEICテストパート1 の概要を理解し、実際の問題を解くことができる。	
		4週	第4章 パート1 の予想問題と解説			TOEICテストパート1 の概要を理解し、実際の問題を解くことができる。	
		5週	小テスト			TOEIC600レベルの語彙を理解することができる。	
		6週	第3章 パート2 の解法と対策			TOEICテストパート2の概要を理解し、実際の問題を解くことができる。	
		7週	第5章 パート2 の予想問題と解説			TOEICテストパート2の概要を理解し、実際の問題を解くことができる。	
	2ndQ	8週	中間試験				
		9週	テスト返却			間違った問題の正答を求めることができる。	
		10週	小テスト			TOEIC600レベルの語彙を理解することができる。	
		11週	第1章 パート3、4 新形式問題の対策			TOEICテストパート3の概要を理解し、実際の問題を解くことができる。	
		12週	第6章 パート3 の予想問題と解説			TOEICテストパート3の概要を理解し、実際の問題を解くことができる。	
		13週	小テスト			TOEIC600レベルの語彙を理解することができる。	
		14週	第7章 パート4の予想問題と解説			TOEICテストパート4の概要を理解し、実際の問題を解くことができる。	
		15週	前期末試験				
16週	テスト返却			間違った問題の正答を求めることができる。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	小テスト	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	30	10	0	0	0	100
基礎的能力	60	30	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0